

大学運営会議議事録

開催日 及び場所	令和6年6月13日(木) 午後2時00分から午後2時26分まで 特別会議室 Web (ZOOM) 会議同時実施
出欠状況	出席:35名 欠席:5名
1 報告事項	(1)2024年度(令和6年度)オープンキャンパスの実施 ① 静岡県立大学 ② 静岡県立大学短期大学部 (2)2024年度(令和6年度)高校教員対象の説明会開催 ① 静岡県立大学 ② 静岡県立大学短期大学部 (3)生涯健康サイエンスフェス in 静岡県立大学 2024 の開催 (4)「静岡県立大学 産学官連携研究シーズ集 2025」の作成依頼 (5)キャリア・就職支援等に関する卒業生調査結果分析 (6)令和7年3月卒業予定者の進路報告等に関する依頼

- ・前回議事録(案)の確認

令和6年5月の大学運営会議議事録(案)について、案のとおり承認された。

1 報告事項

(1) 2024年度(令和6年度)オープンキャンパスの実施

- ① 静岡県立大学(説明者:細川学生部長)

今年度のオープンキャンパスは昨年度と同様に、高校生と大学教員・在学生との双方向型企画として、「キャンパス来場型企画」とZOOMミーティングを利用した「ライブ配信のオンライン型企画」を各学部で選択して実施する。本企画は、人数制限を設け、完全予約制とする。

1つ目の「キャンパス来場型企画」は従来のオープンキャンパスと同内容であり、各学部で実施日時及び実施に当たっての詳細内容を決定している。薬学部は、8月7日に終日実施。食品栄養科学部は、8月8日に終日実施。国際関係学部は、8月9日の午後に実施。経営情報学部は、8月6日の午後に実施。看護学部は、8月8日に小鹿キャンパスで終日実施。

内容について、例年はキャンパスツアー、研究室紹介、模擬講義等が行われている。

参加人数は、各500名で予約を受け付け、薬学部のみ、午前・午後の二部制により、計1,000名とする予定である。

2つ目の「ライブ配信のオンライン型企画」は、昨年度は食品栄養科学部のみ実施しており、今年度は実施するかどうかを検討している。

内容は、個別面談、グループ面談等が企画として挙げられている。

双方向型企画と並行して「バーチャル・オープンキャンパス」を実施し、本学のホームページの特設サイトから動画配信を行う。原則は無制限公開とし、掲載期間は年度内とする。

今後のスケジュールについて、7月8日からホームページ上の参加申込受付を開始する。

② 静岡県立大学短期大学部（説明者：小林短期大学部副部長）

今年度の短期大学部のオープンキャンパスは、対面実施と動画配信を行う。

対面は、7月27日（土）に午前・午後の二部制で実施する。

内容は、全体説明後に学生による学科及び施設紹介を行い、各学科の教員による個別説明会も開催する予定である。

また、昨年度は参加申込数が多かったため、今年度は定員を200名×2部、計400名に増やして実施する。実施に当たっては、オンラインによる事前予約制とし、上限人数に達した時点で申込受付を終了する。

動画配信は、8月2日（金）から入試説明、学科紹介、模擬講義等に関する動画を短期大学部ホームページ上で公開する予定である。

模擬講義について、従来は県民の日に合わせた8月下旬からの公開としていたが、志願者数確保という課題に対応するべく、公開時期を早め、8月初旬から公開する。配信期間は、特別選抜の実施に係る年内入試の志願者に配慮し、11月末までとする。

（2）2024年度（令和6年度）高校教員対象の説明会開催

① 静岡県立大学（説明者：細川学生部長）

2024年度の高校教員対象説明会開催について報告する。

本説明会は例年実施しているものであり、学部及び入試方法について、高等学校教員への情報提供を行っている。また、高校、大学間の連携を図ることも目的としている。

周知方法は、県内すべての高校に対しメール通知する。県外高校に対しては、過去5年間の志願者数累計10名以上の高校を対象に、メール又はFAXで通知する。

開催方法は動画配信とし、配信開始期間は、令和6年6月28日から年度内を予定している。

内容は、学部説明、入試説明、2024年度の一般選抜入試問題説明という項目で行う。その中の入試問題説明において、看護学部は面接・口頭試問のみであるため、入試問題の説明は実施しない。説明に当たっては、各学部の特色、入試の変更点、出題のねらい等を中心に報告する予定である。

開催に先立ち、事前に参加予定の高等学校に対してはメール等で質問を受け付け、回答する。また、説明会後に質問が生じた際の入試室に寄せられた質問に関しては、後日個別にメールで回答する。

昨年の参加実績は、県内高校89名、県外高校5名であった。

② 静岡県立大学短期大学部（説明者：小林短期大学部副部長）

対面式の高校教員対象説明会を6月27日（木）13時30分から本学講堂で開催する。

周知方法は、静岡県内の高等学校及び過去5年間に介護福祉士専攻へ入学実績のある、県外高等学校に対してメール又は案内を郵送する形で通知した。

内容は、各学科説明、令和7年度入学者選抜要領、令和6年度（昨年度）入学者選抜結果等の報告を行う。また、今年度は全体閉会前に、短期大学部内の施設見学を実施し、本学の特徴的な施設を実際に見ていただき、短期大学での学び並びに他大学及び専門学校との違いを感じていただき、理解を深めてもらいたいと考えている。

昨年の参加実績は、計26校であった。

(3) 生涯健康サイエンスフェス in 静岡県立大学 2024 の開催（説明者：渡邊副学長）

一昨年まで開催していた「静岡健康長寿学術フォーラム」を、昨年度からは「生涯健康サイエンスフェス」にリニューアルして開催している。

今年の特徴は、9月27日にプレセッションとしてUSフォーラムを開催し、1か月後の10月26日にメインセッションを開催する。テーマは、昨年に引き続き「シン・時代を美しく安全に生きる Part 2」。会場は、草薙キャンパス 看護学部棟 4階フロアである。

USフォーラムでは本学の研究成果発表として、口頭発表とポスター発表を予定している。

メインセッションは剣祭の1日目と同日ということもあり、昨年よりも多い集客を見込んでいる。午前中は、高校生研究セッションと4大学（静岡大学、浜松医科大学、静岡県立大学、静岡社会健康医学大学院大学）の特色ある取組のパネル展示を予定している。午後は2題の講演を予定しており、1題目は「健康・スポーツ科学分野における科学的知見の社会実装」というテーマで、筑波大学 中田教授に講演いただき、座長を静岡大学 杉山教授に務めていただく。2題目は「薬食同源学」というテーマで、神戸大学 榎原教授に講演いただき、座長を本学 小林副学長が務める。

今回は2日間に分けての開催となるが、多くの方の参加をお願いする。

<補足説明>

・高校生研究セッションでは、大学教員からのアドバイスや意見を伝える機会として、積極的に参加いただきたいと思う。（議長）

(4) 「静岡県立大学 産学官連携研究シーズ集 2025」の作成依頼（説明者：酒井副学長）

研究シーズ集について、例年同様に作成するため報告する。

今年度新たに本学に採用された教員又は昨年度までの研究シーズ集に掲載していない教員については、この機会に積極的に掲載するようお願いする。

原稿の提出期限は7月26日としているため、準備を進めていただくようお願いする。

(5) キャリア・就職支援等に関する卒業生調査結果分析（説明者：東野キャリア支援センター長）

キャリア支援センターでは、本学卒業生を対象に、平成20年から3年ごとにキャリア・就職支援等に関する卒業生調査を実施してきた。

昨年度の結果（令和6年5月 大学運営会議にて報告）も含めた過去6回の調査結果について分析し、得られた情報について報告する。

分析結果、概括について、調査結果から推測されることの1つ目は、ストレスなく働きたいという学生が増えているということである。一般的ではあるが、この情報をキャリア支援センターの企業面談等で企業側に伝えるなど、情報発信の材料として活用していく。

2つ目は、職場におけるギャップについて、学生への支援に当たる際の情報として、学生面談時に具体的に明示し、社会人生活の実際のイメージを共有できるよう活用していきたい。

本調査は、分析結果を基にさらなるキャリア・就職支援、学生支援のあり方の検討資料とすることを目的としている。在学中には確認できない就職後の様々な意見等を聞くことにより、その情報は就職活動を迎える在学生には貴重なものとなることから、キャリア支援センターでは、企業との情報交換や就職活動支援において、本調査の結果を踏まえた適切な対応、方策

を検討していきたいと思う。

<意見>

・卒業生調査の内容について、就職支援に特化した調査項目としていると思うが、最近話題に上がる「学修成果の把握」に対して、調査結果を使用することはできないか。(議長)

<回答>

・調査結果の中には、実際に学部でどのようなことを学んだか。学んだことがどのように役に立ったか。という内容もあるが、実際には、就職後間もない段階で活かされるものと、長年のキャリアを経て大学で学んだことが活かされるものでは異なることから、大学での教育効果を測るに当たっては、卒業生調査の対象が卒業後3年以内の卒業生を対象にしているという部分の幅を広げるなど、調査内容について工夫しなければ効果は見出しにくいと思う。(説明者)

<意見>

・細かい調査をする必要はなく、卒業時点において、大学で学んだことが学生の身についたかという自己評価結果が必要な情報だと思う。その点について質保証委員会と協議し、本調査結果において、学修成果が上がっているというエビデンスとしても使用できるよう、質問項目の工夫をしていただきたい。(議長)

<回答>

・今後検討していく。(説明者)

(6) 令和7年3月卒業予定者の進路報告等に関する依頼(説明者:東野キャリア支援センター長)
キャリア支援センターでは、毎年卒業(修了)予定者の進路把握に努めている。

今後の就職活動スケジュールの変動や社会情勢に合わせた適切なキャリア・就職支援が行えるよう、学生の現状を正確に把握することを目的としており、本報告内容は、在学生の進路・就職事業に活用するほか、文部科学省をはじめとする省庁等の調査回答に利用している。

本件について、年度はじめのガイダンスやキャリア支援センターを利用する学生には、進路報告書又は状況報告書の提出を依頼している。就職活動報告書は、就職が決定するまでの経緯等が分かる資料であり、後輩学生にとっては大変貴重な資料であり、参考とする学生が多い。

提出方法について、メール送付とはせず、キャリア支援センターに来室の上、直接提出としているという点については、提出に来る学生一人一人の状況をその場で確認し、個別面談等に応じながら対応するため、そのような方法としている。

学生への周知は、UNIVERSAL PASSPORTを通じて案内を発送するが、提出期限を6月28日としているため、学生に対して報告書提出の指導をお願いする。

キャリア支援センターでは、今後も高い就職内定率を維持できるよう、学生に対して様々なガイダンス等を実施する。教員におかれては、学生のガイダンス等への参加に配慮いただくとともに、キャリア支援センターの利用促進をお願いする。

担当:経営財務室 市野 雄基